

2017年8月30日

名称	九州地区の設計手法の適用と教育に関する調査研究分科会
種別	A種分科会：会誌等で公表できる成果が期待できるもの B種分科会：ニーズ、シーズを調査し、A委員会へ発展可能なもの C種分科会：外部から委託されたもの
設置期間	2017年10月～2018年9月
主査等責任者 ・通信先	和泉 直志 (正会員) 久留米工業高等専門学校 教授 izumi@kurume-nct.ac.jp (0942)35-9365 (直通) 幹事予定者：竹之内和樹 九州大学大学院 准教授 委員：戸水晴夫氏 (SDI Japan) を中心メンバーとして、九州支部会員 に依頼・募集.
年開催予定数	6回
目的	各種設計手法は設計を合理的に進めることにより、設計の質を保証するとともに製品を迅速に市場に投入するために考案され、利用されている。 しかるに、九州地区の大学・高専においては、図学および製図の教授法の研究、またトライボロジーを中心とする機械要素の研究は行われているものの、これらを製品としてまとめる設計手法については研究者が不在で、機械設計の教育は強度設計に留まっている。 そこで、本分科会では各種設計手法について、参加委員の共通理解を得た上で、九州地区製造業での適用状況を調査し、学校および企業での設計手法教育の標準を得ることを目的とする。併せて、前述の結果を通して、九州地域における学校および企業での設計技術教育の進展・範囲の拡大に寄与することも目的に含める。
調査研究事項	<ul style="list-style-type: none"> ・九州地区製造業における設計手法適用状況の調査 ・九州地区の大学および高専における設計手法の教育状況の調査 ・各種設計手法の適用場面と効果の整理 ・学校および企業での設計手法の教育に対する提言のとりまとめ